

# ひとを育てる活動(1)

## SCMSI ガンダム学長からのメッセージ (1/8 付)

皆様、クリスマスと新年おめでとうございます！

SCMSI を通じて先住民族の子ども支援を継続いただき感謝申し上げます。また、クリスマス寄付をありがとうございました！レムエヘック、ラヒット、ベネフ3小学校の子どもたち計513名に、歯ブラシ・歯磨き粉・石鹸セットをプレゼントしました。神のご加護をお祈り申し上げます。

\* \* \* \* \*

なお、里親会員57名には、里子のカードに添えて、お一人お一人にガンダム学長からのカードも届きました。本会報に同封してお届けいたします。

全体支援の皆様45名については、お名前をSCMSIに伝えていないため、学長のカードはいただけていません。SCMSI校支援は、里親会員と全体支援会員を合わせた102名のご協力による旨を今回改めて伝えさせていただきましたところ、ガンダム学長から上記のメッセージをいただきました。(事務局)



サンタに扮したガンダム学長(レムエヘック小)



プレゼントを手にして喜ぶ子どもたち

(ラヒット小)

## カレッジ卒業生の近況報告

### 母校 SCMSI で働いています！

先月、SCMSI校卒業の元里子の写真報告が届きました。SCMSI校が毎年その数を増やしていた1990年代初めまでは、SCMSIカレッジ卒業生の多くが地元レイクセブ町で母校の教師になりました。学校数が減った今、新卒の採用は減りました。以下は、その中でSCMSIに職を得て、後輩のために働く元里子の写真報告です。



SCMSI校から、コ罗纳ダル市のNDMUに進学、昨年卒業のフェリントは、SCMSI財務部門に就職し、経理を担当。



昨年SCMSIカレッジを卒業したジェイソン。町役場志望を変更、SCMSIレムエヘックハイスクールの学級担任になりました。



SCMSI校から、G.サントス市にあるMSUに進学、昨年卒業のジェマイナ・グレース。SCMSIレムエヘック小学校で教えています。

### 今も公立ハイスクールで教えています

ビラーンの辺境で初等教育を支えるCMIP運営の小学校4校は、複式学級が多く、教師定員は計15名と少ないため、教師を目指す元奨学生は、6か月のボランティア勤務の間に、教師国家試験LETに挑戦し、公立の教師を目指します。

11月下旬、卒業生ジミーから、数年ぶりに近況を知らせてきました。LETに合格し、地元のキナム公立ハイスクールで後輩を教えられるのは幸せだが、弟妹や従弟への支援が大変とありました。

「将来は家族、親族を助きたい」は奨学生共通の目的で、実際に一人のカレッジ生支援により、周辺の子どものための教育の機会が広がっています。



2011年に、トラックで橋のない川を何度も渡り、4時間かけてCMIPキアミ校を訪問した折、同行してくれたジミー。

なお、キアミの子どもは、2013年の当会の吊り橋支援でキナム公立小に通えるようになり、CMIPキアミ小はその役割を終えました。

### 3月あるいは6月の卒業を前に頑張っています — カレッジ奨学生の手紙から —

SCMSIハイスクール卒業後、コ罗纳ダル市の大学NDMUに進学し犯罪学を学ぶゼルビンからは、6月の卒業後は警察官になって国民の命を守りたい、各種学科の勉学のほか、早朝4時からのランニングなどの鍛錬にも励んでいるという現況が届きました。

ハイスクール卒業後はすぐ結婚、2児の母親になっていたアバンは、2014年3月、現地訪問の元里親に再会、その支援でSCMSIカレッジ地域開発科に入学、この3月に卒業します。夏休みには子どもの学習の面倒をみるなど、母親として家事育児をしながら学んできました。卒業後は地域と家族のために働きたいと抱負が記されていました。